

李思訓碑

唐 李邕

中国法書選 39

中国法書選 39 李思訓碑

唐 李邕

三玄社

9784544005394
1923371014003

CUHK Libraries
004331699

定價(本体一四〇〇円+税) 二玄社 ISBN4-544-00539-6 C3371 ¥1400E

中国法書選 39

唐 李邕

李思訓碑

二玄社

[中国法書選]各冊に対応する総合解説書

[中国法書ガイド]全60冊

A5判・カバー装/各48~72ページ/本体=各680円
全60冊セット本体=36,720円(全冊本体合計=40,800円)

名跡を鑑賞し、理解し、手本として習うときに、ぜひ知っておきたい基本的な事柄があります。この[中国法書ガイド]は、[中国法書選]全60冊の各冊に対応する、コンパクトに編集された総合解説書です。計112名にのぼる執筆者が、豊富な挿図や興味ぶかいエピソードをまじえて、〈書〉をめぐる、広く豊かな世界を、平易に理解しやすく御案内します。

[中国法書ガイド]の内容構成

●法書ガイド●

法書の、歴史上の位置、誕生の由来、書者の伝記、底本の伝来、書体・書風の分析など、手本として習うに先だって、まず知っておきたい書道史的な基礎知識を、総合的に解説します。

●周辺ガイド●

数多くの法書は、もとより手本として書かれたものではありません。広大な文化史的ひろがりのなかに置いてみると、法書は何を語ってくれるでしょう。名跡の周辺、書者の周辺にひろく材を求め、諸分野気鋭の執筆者がさまざまに筆を揮います。

●書法ガイド●

その法書と永年とりくんだ第一線の実作家が、各法書に二人、それぞれの視点から、基本点画や結体法などを分析して、学書に必要な基礎的技法のポイントを多面的に解説し手引きします。

●釈文●

習おうとする法書には、いったい何が記されているのでしょうか。それを知ること、学書に不可欠の過程です。各冊、全作品の平易な現代語訳と、原文・訓読を対照して理解を容易にします。

中国法書選 39

李思訓碑

唐 李邕

二玄社



唐故雲鷹將軍右武衛大將軍贈秦州都督彭
唐故雲鷹將軍·右武衛大將軍·贈秦州都督·

唐故雲鷹將軍右武衛大將軍贈秦州都督彭
唐故雲鷹將軍·右武衛大將軍·贈秦州都督·

國公諡曰昭公李府君神道碑并序
李府君神道碑并序

國公諡曰昭公李府君神道碑并序。族子括州刺史邕撰并書。
〔彭〕國公·諡曰昭公·李府君神道碑并序。族子·括州刺史邕撰并書。

觀夫地高公族
 才秀國華
 德名昭宣
 沖用徽
 名昭宣沖用徽

觀夫地高公族。才秀國華。德名昭宣。沖用徽。
 夫の地は公族に高く、才は國華に秀つるを觀るに、德名昭宣し、沖用徽（婉なり）。

婉動必簡久言
 必典彝人之儀
 形固以為天下

婉。動必簡久。言必典彝。人之儀形。固以為天下。
 動けば必ず簡久、言えは必ず典彝。人の儀形、固より以て天下の（式と）為す。

式。王□□久□以... (二六字欠) ... 守中。輜重養福。元宗以長其代。邁德以閱其
 ... 元宗 以て其の代を長じ、邁德 以て其の(門を)開くする(者は)、
 代邁 儀以 閱其
 福元 宗以 長其
 式守 中輜 重養 福

式。王□□久□以... (二六字欠) ... 守中。輜重養福。元宗以長其代。邁德以閱其
 ... 元宗 以て其の代を長じ、邁德 以て其の(門を)開くする(者は)、

門者其其惟我茲
 國以歟以諱思
 訓字建隴西狄

門者。其惟我彭國公歟。公諱思訓。字建。隴西狄
 其れ惟うに我が彭國公ならんか。公諱は思訓、字は建、隴西狄(道の人なり)。

道人 至 於 從 於
 秦 克 復 其 任 子
 仲 翔 討 叔 羗 于

道人也。：(一五字欠) 宗子：(二三字欠) 至信徙於秦。克復其任。子仲翔討叛羗于
 ……。信に至つて秦に徙り、克く其の任を復す。子の仲翔、叛羗を(狄道)に討つ。

狄 道 子 伯 考 因
 家 焉 洎 孫 漢 前
 將 軍 廣 子 侍 中

狄道。子伯考因家焉。洎孫漢前將軍廣。子侍中
 子の伯考、因つて焉に家す。孫の漢の前將軍、子の侍中(敢)、

敢。十四代孫高。□□武。：(八字欠)。曾祖郇王諱禕。：(七字欠)。徵拜太常卿。諱叔良。考原州長史華陽縣開國公
 十四代の孫の高。□□武に洎び、……。曾祖郇王諱は禕、……。徵せられて太常卿を拜す。諱は叔良。考は原州長史・華陽縣開國公。

敢士四知諱叔
 良考原州長史
 華陽縣開國公

贈寧州刺史諱
 字斌或集事雲
 雷擁旌為將或

贈寧州刺史。諱は孝斌。或いは事を集むるは雲雷、旌を擁し將と為り、或いは
 贈寧州刺史。諱は孝斌。或集事雲雷。擁旌為將。或

承光日月。分□□□並□□□和禮以□□□以：（三字欠）：至□□然寡欲。超然遠尋。好山海富。慕神仙事。
 光を承くるは日月、…、□然として欲寡なく、超然として遠く尋ぬ。山海の富を好み、神仙の事を慕うも、
 然光 然宜 欲
 超然 遠尋 好山
 海富 慕神 仙事

承光日月。分□□□並□□□和禮以□□□以：（三字欠）：至□□然寡欲。超然遠尋。好山海富。慕神仙事。
 光を承くるは日月、…、□然として欲寡なく、超然として遠く尋ぬ。山海の富を好み、神仙の事を慕うも、

且束以名教阻
 於從遊乃博覽
 精慮衆藝

且束以名教。阻於從遊。乃博覽羣書。精慮衆藝。
 且束するに名教を以てし、從遊に阻まる。乃ち群書を博覽し、衆芸に精慮し、

百○借○上○日
 直道首以非忠
 益之論不關於

百○借○妙。一○知：(二九字欠)。嘗義直道首公。非忠益之論。不關於
 百○は借に妙なり。……義を簞くし道を直くするは公を首とす。忠益の論に非ずんば、(言)に關せず、

言非侯後之暮
 不介其意夫如
 此可近大化

言。非侯度之暮。不介其意。夫如此可以近大化。
 侯度の誤に非ずんば、其の意に介せず。夫れ此くの如くんば以て大化に近づく可し。

漸家功烈。……(二八字欠)……人□□□多□□歷薦□□。畢子贊禹。甘生相秦。莫可得而聞。

子贊爲甘生相
秦莫可得而聞

漸家□功烈。……(二八字欠)……人□□□多□□歷薦□□。畢子贊禹。甘生相秦。莫可得而聞。

漸く家□功烈す。……。畢子禹を贊げ、甘生秦に相たり、得て聞く可き莫し。

已十有四。補崇文生。舉經明行脩科甲。明年吏

脩科甲明年吏

已十有四。補崇文生。舉經明行脩科甲。明年吏

已に十有四、崇文生に補せられ、經明行脩の科甲に挙げらる。明年吏(曹は)

曹以文翰擢
 朝散大夫滿歲
 除常州司倉參

曹以文翰擢。□益州參軍。：（二字欠）：達□□□重。：（七字欠）：顏□。未幾加朝散大夫。滿歲除常州司倉參
 文翰を以て擢んで、……。未だ幾ばくならずして朝散大夫を加えられ、滿歲にして常州司倉參（軍事に）除せらる。

軍事于出納之恠
 職司其憂蓋小
 小者于時也鼎

軍事。出納之恠。職司其憂。蓋小小者。于時也。鼎
 出納之れ格に、職司其れ憂う。蓋し小したる者は、時に于いてするなり。

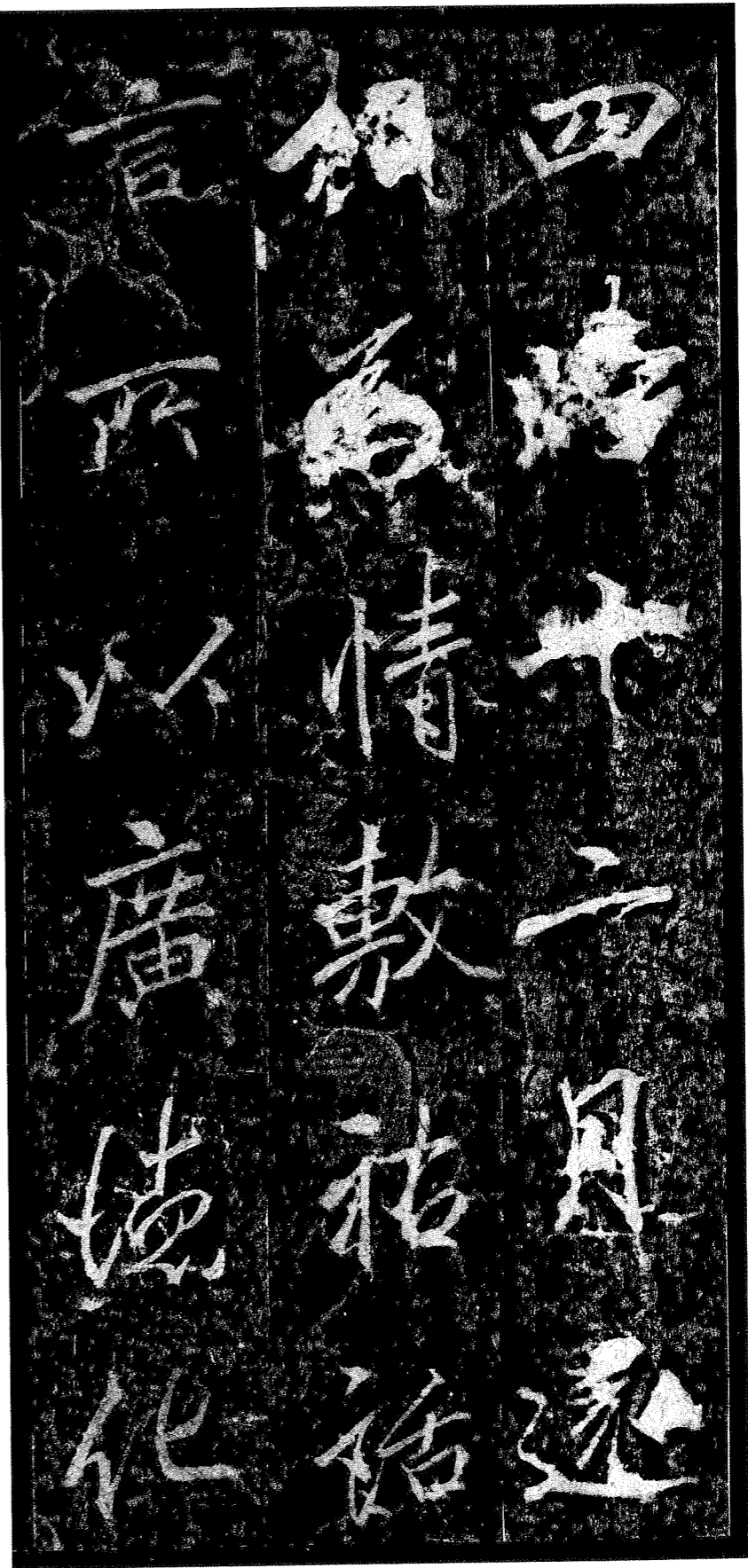
湖龍昇。椒宮黼啄。○宗名重。○二字欠。詩興二之數。近關而出。岡知所從。臨河
 關。湖に龍昇り、椒宮に黼啄む。……関に近づいて而出で、従う所を知る関し。河に臨んで

湖龍昇。椒宮黼啄。宗名重。二字欠。詩興二之數。近關而出。岡知所從。臨河
 關。湖に龍昇り、椒宮に黼啄む。……関に近づいて而出で、従う所を知る関し。河に臨んで

而還。復將安處。僂俛轉揚州江都宰。公曰。五行。
 而還。復將安處。僂俛轉揚州江都宰。公曰。五行。

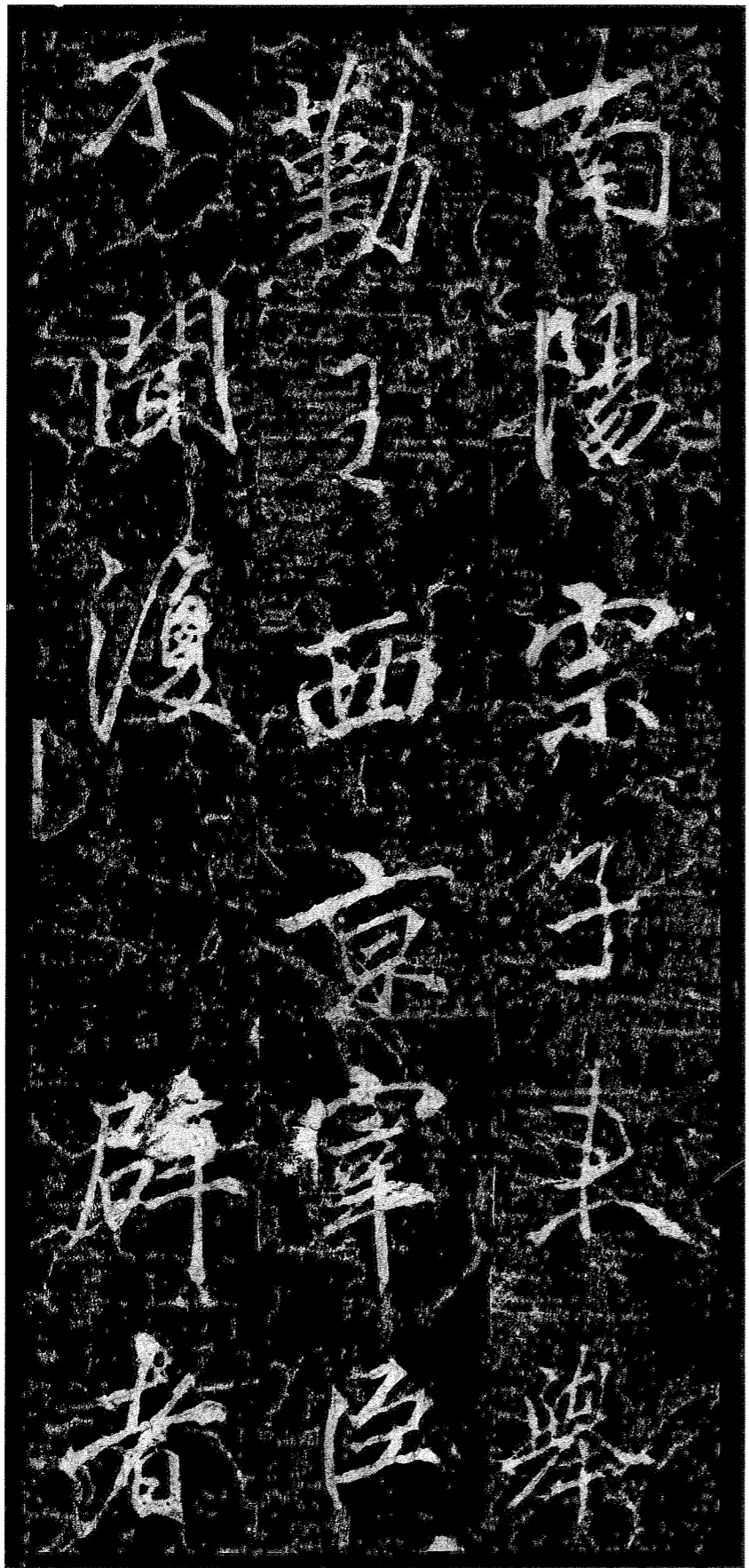
而還。復將安處。僂俛轉揚州江都宰。公曰。五行。
 而して還り、復た將に安にか處らん。僂俛として揚州江都の宰に轉ず。公曰く、五行、

四時。十二月。還相爲本。五音。六律。：（二〇字欠）：之多。□。事：（七字欠）：其。□。義。在其人情。敷祐語言。所以廣德化。
 四時、十二月、還りて本を相い爲す。五音、六律、……、其の人情に在り。語言を敷祐するは、徳化を広くする所以。

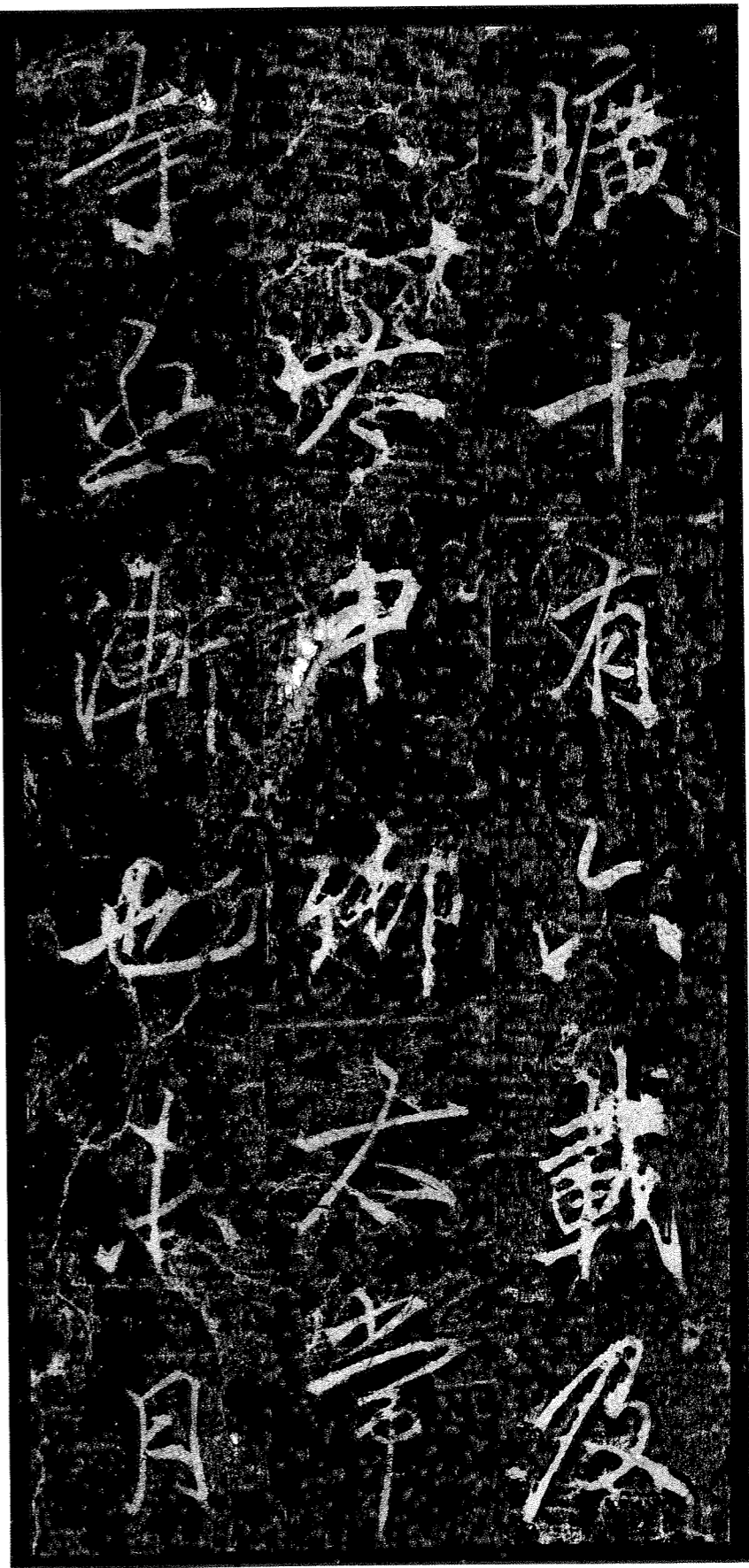


扇揚和氣。所以暢仁心。及履霜堅氷。終風折木。
 和氣を扇揚するは、仁心を暢ぶる所以なり。履霜堅氷、終風折木に及ぶ。

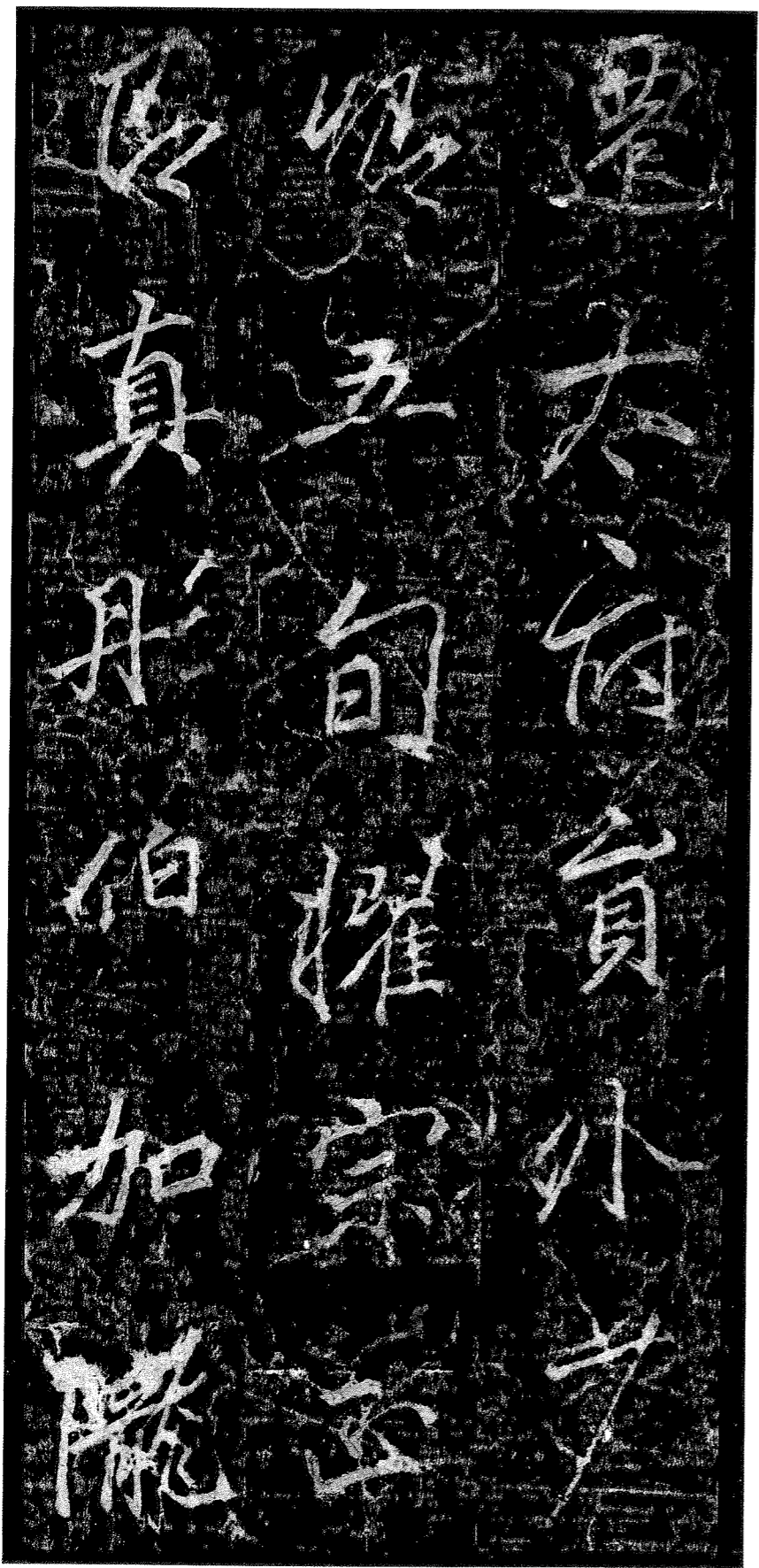
公歎曰。天_○雨。蛾_○駭_○王。木_○未_○搖。鳥_○。…(二三字欠)…_○不_○足_○以_○…(八字欠)…_○足_○以_○謀_○家。□_○詬_○侯_○時。變名求活。所恨
 公歎して曰く、…、名を変じて活を求む。恨む所は



南陽宗子。未舉勤王。西京宰臣。不聞復辟者。
 南陽の宗子、未だ勤王を挙げず。西京の宰臣、復た辟を聞かざる者、

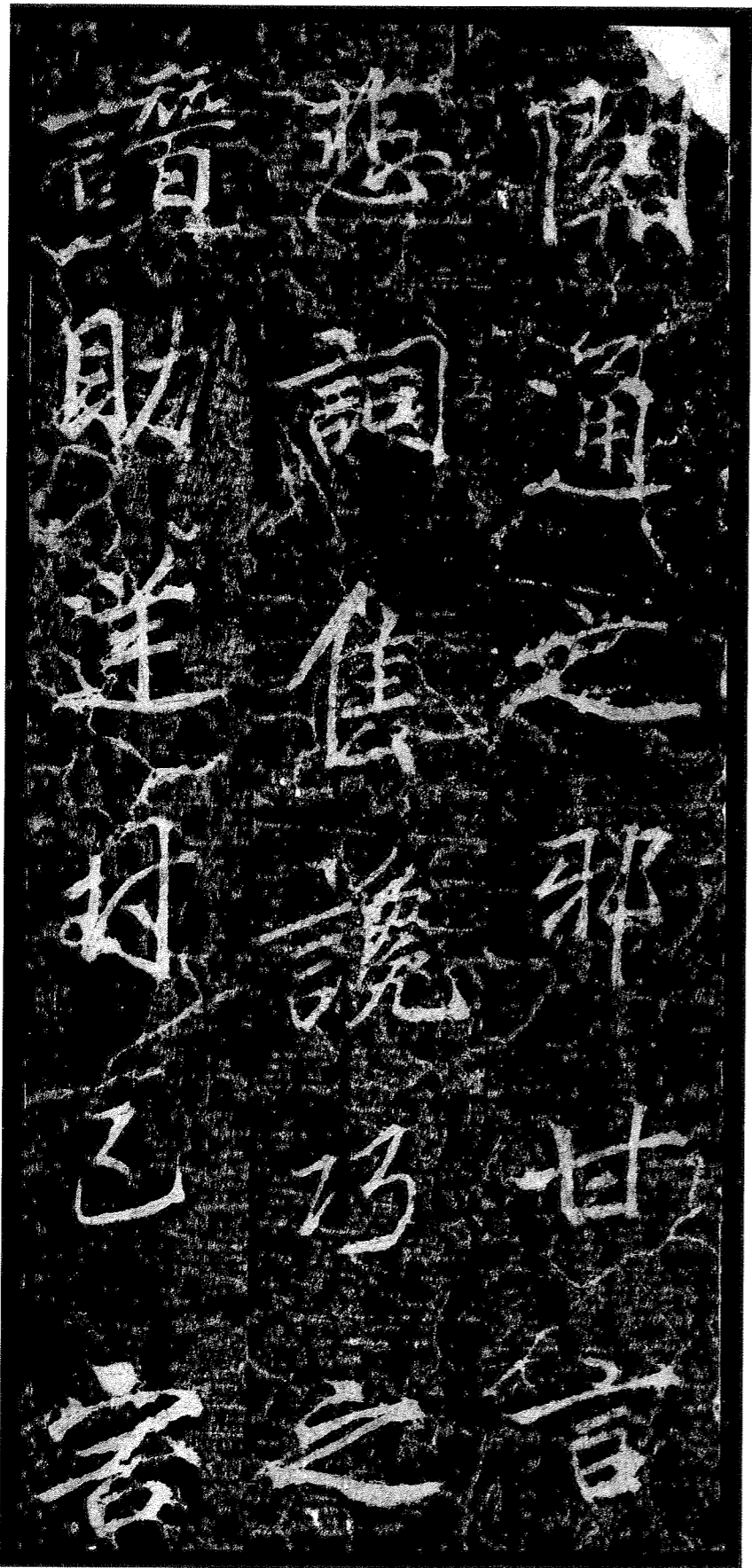
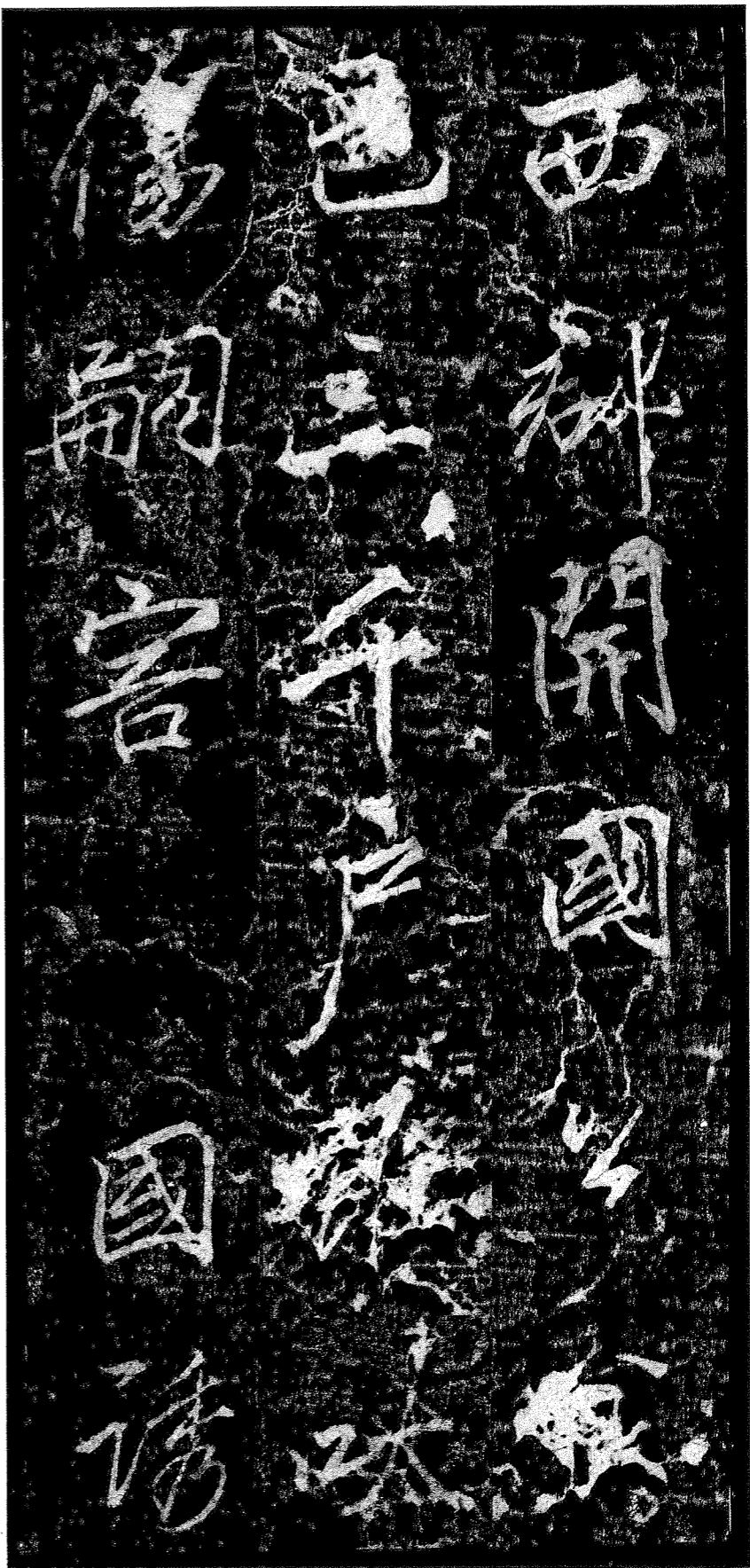


曠十有六載。及太口御歷。……位莫非其人。徵拜太常寺丞。漸也未月
 十有六載を曠くす。……位其の人に非ざるは莫し。微せられて太常寺丞を拜す。漸なるや未だ月ならずして



遷太府員外少卿。五旬擢宗正。即眞彤伯。加隴
 太府員外少卿に遷り、五旬にして宗正に擢んでらる。眞彤伯に即き、

西郡開國公食邑三千戶。雖莅事。得。……(二二字欠) ……天。藉。藉。……(八字欠) ……代鳴。諸呂遂吠。傷嗣害國。誘
 (隴)西郡開國公食邑三千戶を(加えらる)。……諸呂遂に吠ゆ。嗣を傷つけ国を害し、



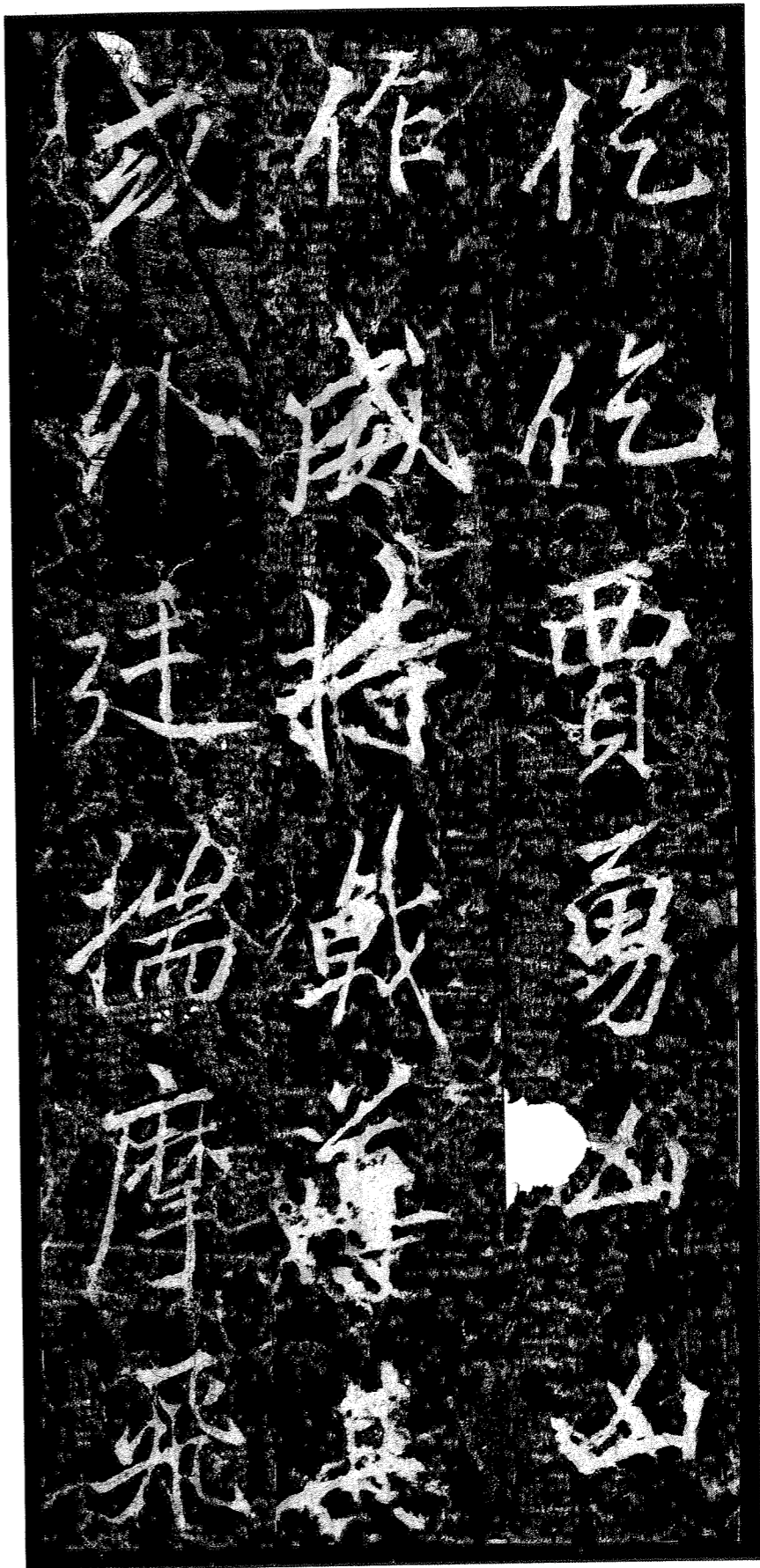
關通之邪。甘言悲詞。售讒巧之譜。助逆封己。害
 関通の邪を(誘い)、甘言悲詞、讒巧の譜を售る。逆を助けて己れを封じ、

正亂朝。公密奏封章。累陳啓沃。……動率。廻疑。納。夔之諛。開臣禍
 正(害)朝を乱す。公は密かに封章を奏し、累ねて啓沃を陳ぶ。……、臣禍(の兆)を開き、
 正亂朝。公密奏封章。累陳啓沃。……動率。廻疑。納。夔之諛。開臣禍
 正(害)朝を乱す。公は密かに封章を奏し、累ねて啓沃を陳ぶ。……、臣禍(の兆)を開き、

正亂朝。公密奏封章。累陳啓沃。……動率。廻疑。納。夔之諛。開臣禍
 正(害)朝を乱す。公は密かに封章を奏し、累ねて啓沃を陳ぶ。……、臣禍(の兆)を開き、

之兆。放逐勳舊。慰薦寇讎。后族握兵。黨與屯衛。
 之兆。放逐勳舊。慰薦寇讎。后族握兵。黨與屯衛。
 之兆。放逐勳舊。慰薦寇讎。后族握兵。黨與屯衛。
 之兆。放逐勳舊。慰薦寇讎。后族握兵。黨與屯衛。

之兆。放逐勳舊。慰薦寇讎。后族握兵。黨與屯衛。
 勳旧を放逐し、寇讎を慰薦す。后族兵を握り、党與衛に屯す。



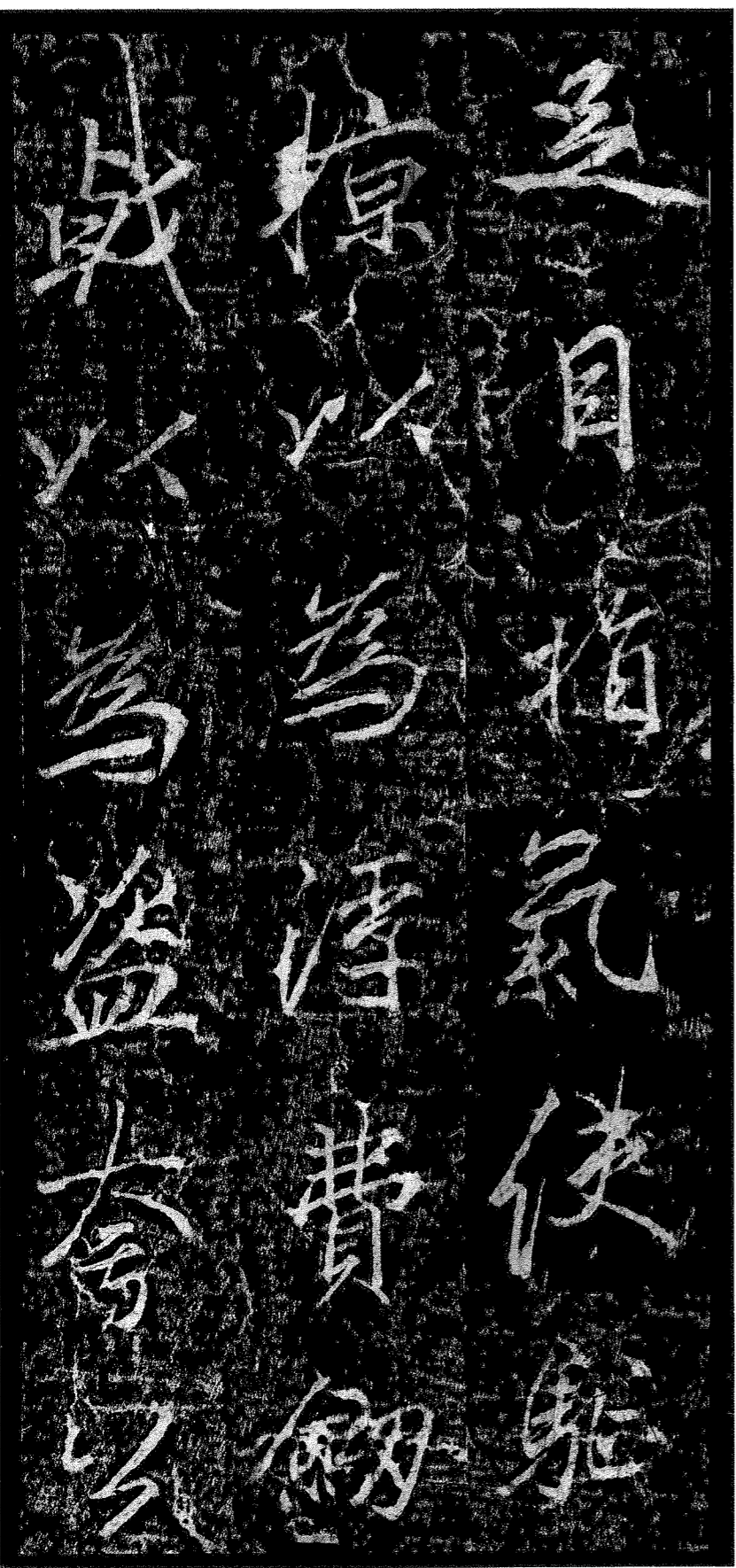
乞乞賈勇。凶凶作威。持戟導其。外廷揣摩。飛
乞乞として勇を賈り、凶凶として威を作す。青蠅の譖を、或いは外廷揣摩して、
□□羅其…(二九字欠)…或…(五字欠)…青蠅之譖。或外廷揣摩。飛



白鳥之難。然以楚兵致討。嘗懼季良。淮南存凶。
白鳥の難を(飛ばす)。然れども楚兵討を致すに、嘗て季良を懼れ、淮南凶を存むるに、



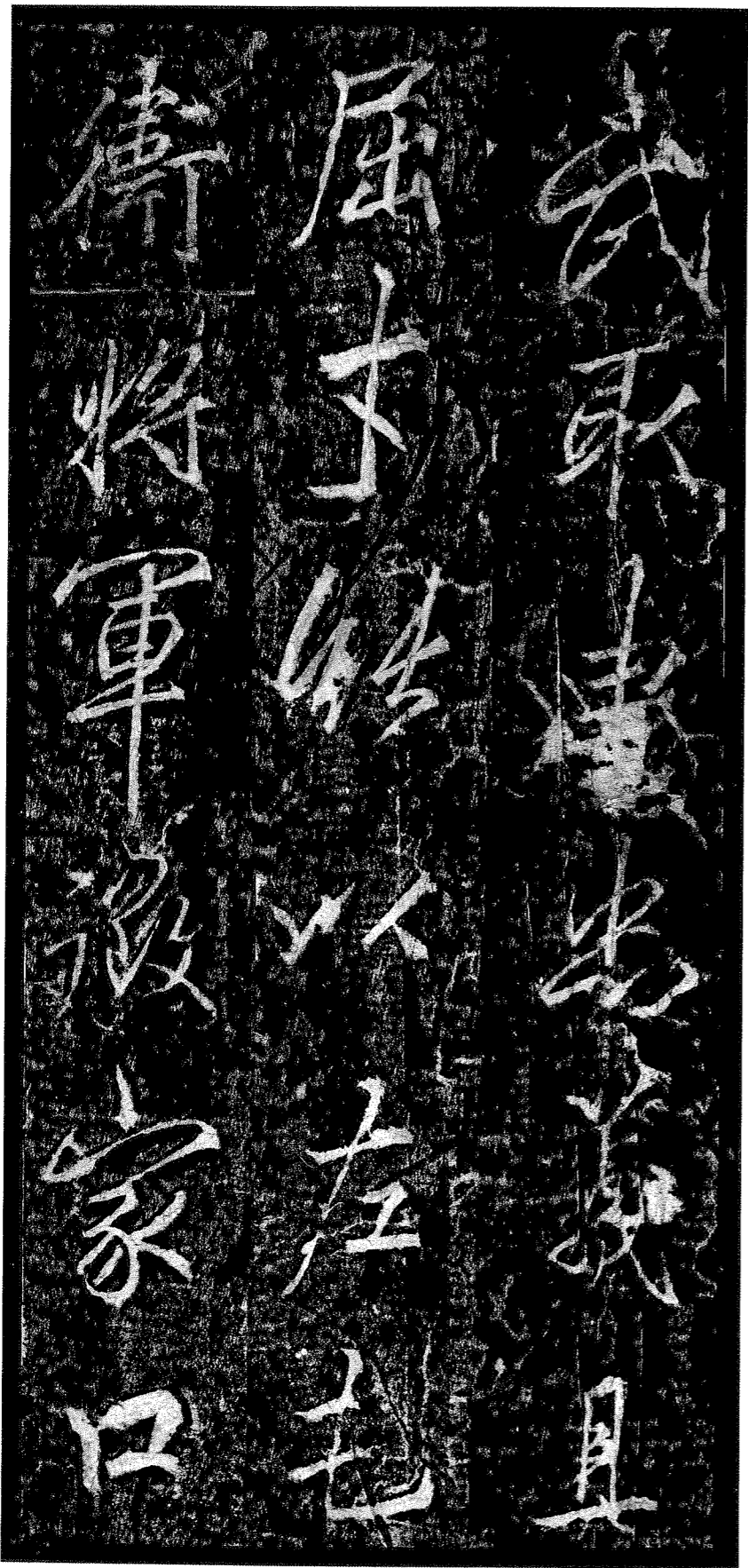
獨防汲黯。出公爲岐州刺史。獨防汲黯に防がるを(以て)、公を出だして岐州刺史と爲す。……家富み勢(足り)、公以□出之舊也。家富勢



足。目指氣使。驅掠以爲浮費。劍戟以爲盜夸。公
目もて指し氣もて使う、驅掠以て浮費と爲し、劍戟以て盜夸と爲す。公



乃急於長雄。緩於國弱。峻科□□。二七字欠。輕於。二〇字欠。行。國朝以時泰崇文。事危尙
乃長雄に急にして、國朝時泰ければ文を崇び、事危うければ武を尙ぶを以て、



武。取申忠義。具屈才能。以左屯衛將軍徵。家口
取りて忠義を申べ、具して才能を屈し、左屯衛將軍を以て徵せられ、家口

是給傳集議者
 以舞式是百
 嶠則文雅洽通

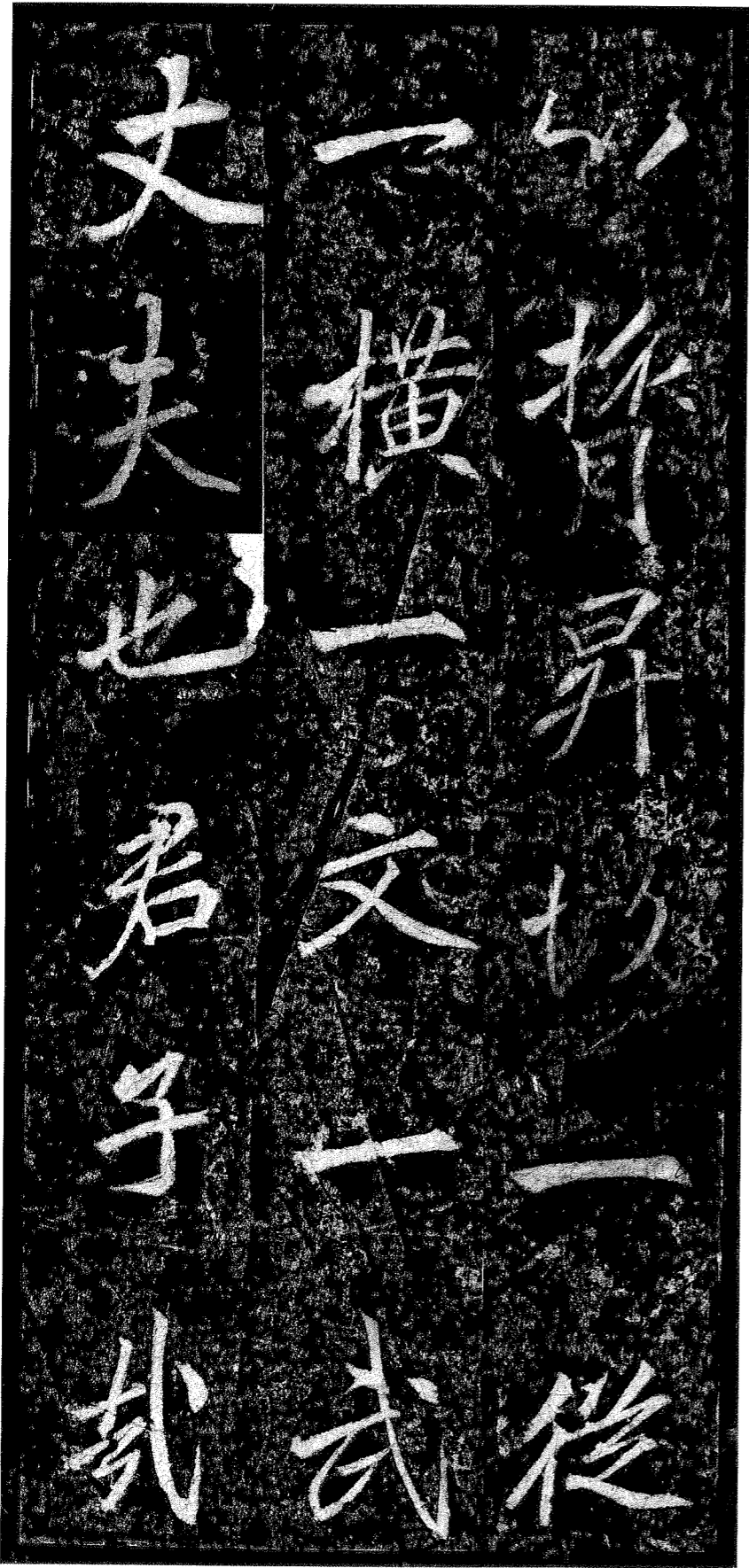
並給傳乘。議者以爲式。是百□：（二八字欠）…則恩義倫博。華嶠則文雅洽通。
 並びに伝乘を給せらる。議する者を以て式と爲す。…則ち恩義倫に博くし、華嶠則ち文雅洽通す。

故散騎平遷侍
 中兼掌書也
 重今之所難矣

故散騎平遷。侍中兼掌。昔也所重。今之所難。公
 故に散騎平遷し、侍中兼ねて掌る。昔重んずる所、今難きとする所、公



得之矣。復換散騎常侍。□□贊相應…(三五字欠)…之。□以圖書□此之再任。以之を得たり。復た散騎常侍に換わる。…。



心膺昇。故一從一橫。一文一武。丈夫也。君子哉。心膺を(以て)昇る。故に一從一橫、一文一武、丈夫なり。君子なるかな。

尋科右羽林將軍。以社稷勳。二十九字欠。終口不淪。考中上。又更
 尋科右羽林衛大將軍。以社稷勳。考中上。又更
 大將軍。以社稷勳。考中上。又更
 淪考中上。又更

尋拜右羽林衛大將軍。以社稷勳。二十九字欠。終口不淪。考中上。又更
 尋いで右羽林衛大將軍を拜す。…、上に考中し、又た

右武衛大將軍。且師丹廉貞。則拜斯職。宋昌心
 右武衛大將軍に「更わる」。且つ師丹廉貞し、則ち斯の職を拜し、宋昌心「腹し」、
 且師丹廉貞則
 右武衛大將軍
 科斯職宋昌心

右武衛大將軍。且師丹廉貞。則拜斯職。宋昌心
 右武衛大將軍に「更わる」。且つ師丹廉貞し、則ち斯の職を拜し、宋昌心「腹し」、

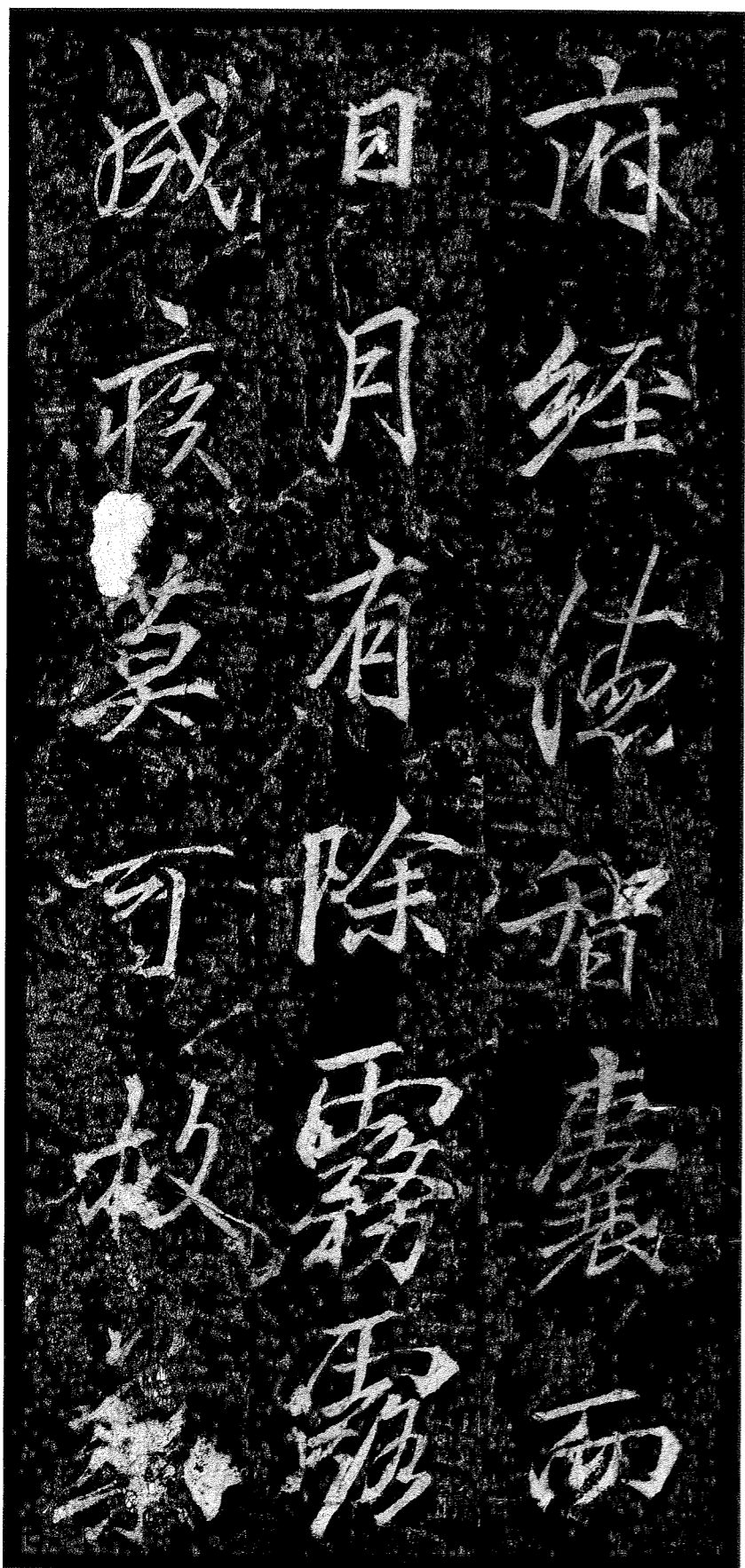
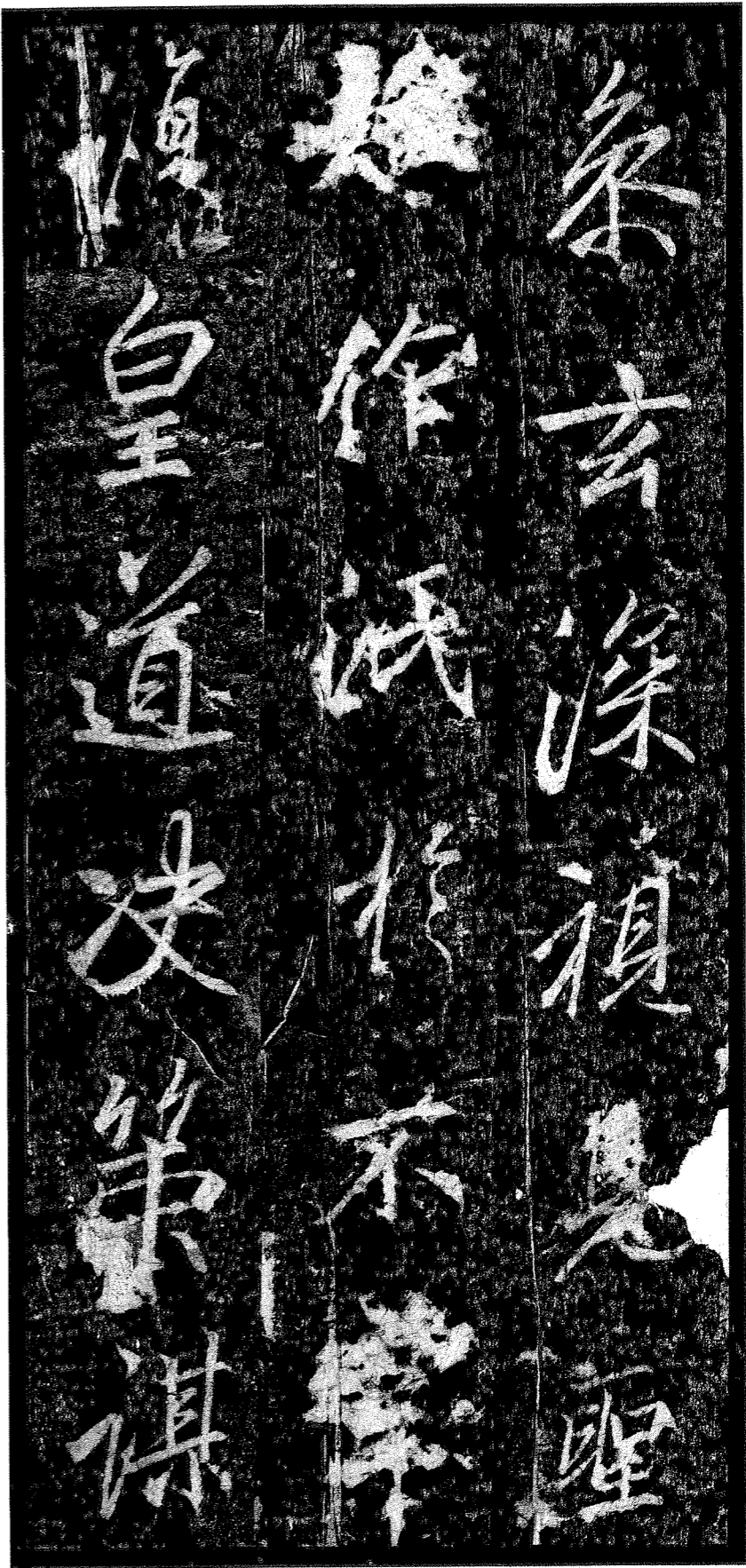
腹。亦登厥官。或以公包□詞□：（二三字欠）：於：（五字欠）：軍：（一〇字欠）：空□。其釋門也。因假開喻。亦た厥の官に登る。……。其の積門なるや、仮に因つて開諭するは、

腹二登厥官或
 以以包推詞義
 問也因假開喻

是究竟談以實
 明宗非差別行
 其道流也默論

是究竟談。以實明宗。非差別行。其道流也。默論。是れ究竟の談、実を以て宗を明らかにするは、差別の行ないに非ず。其の道流なるや、默論

參玄。深視見聖。罔作泚於不口復從理於：（二字欠）：地之紀導。萬物之□□□□之：（五字欠）：。附翼皇道。決策謀
 玄に參じ、深視聖を見る。……。皇道に附翼す。策を謀（府に）決し、



府。經德智囊。而日月有除。霧露成疾。莫可救藥。
 徳を智囊に經、而して日月除有り、霧露疾を成し、救薬す可くも莫し。

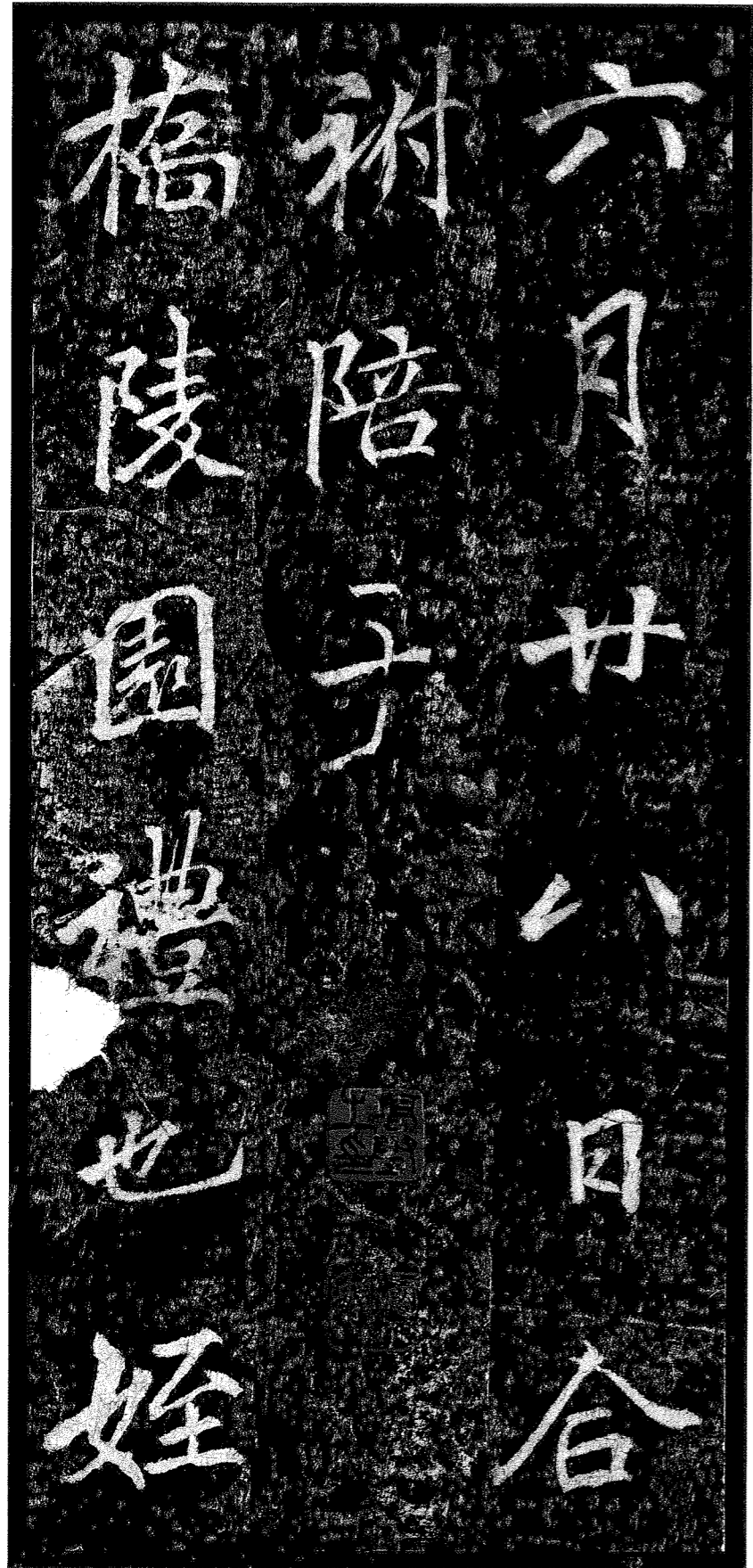
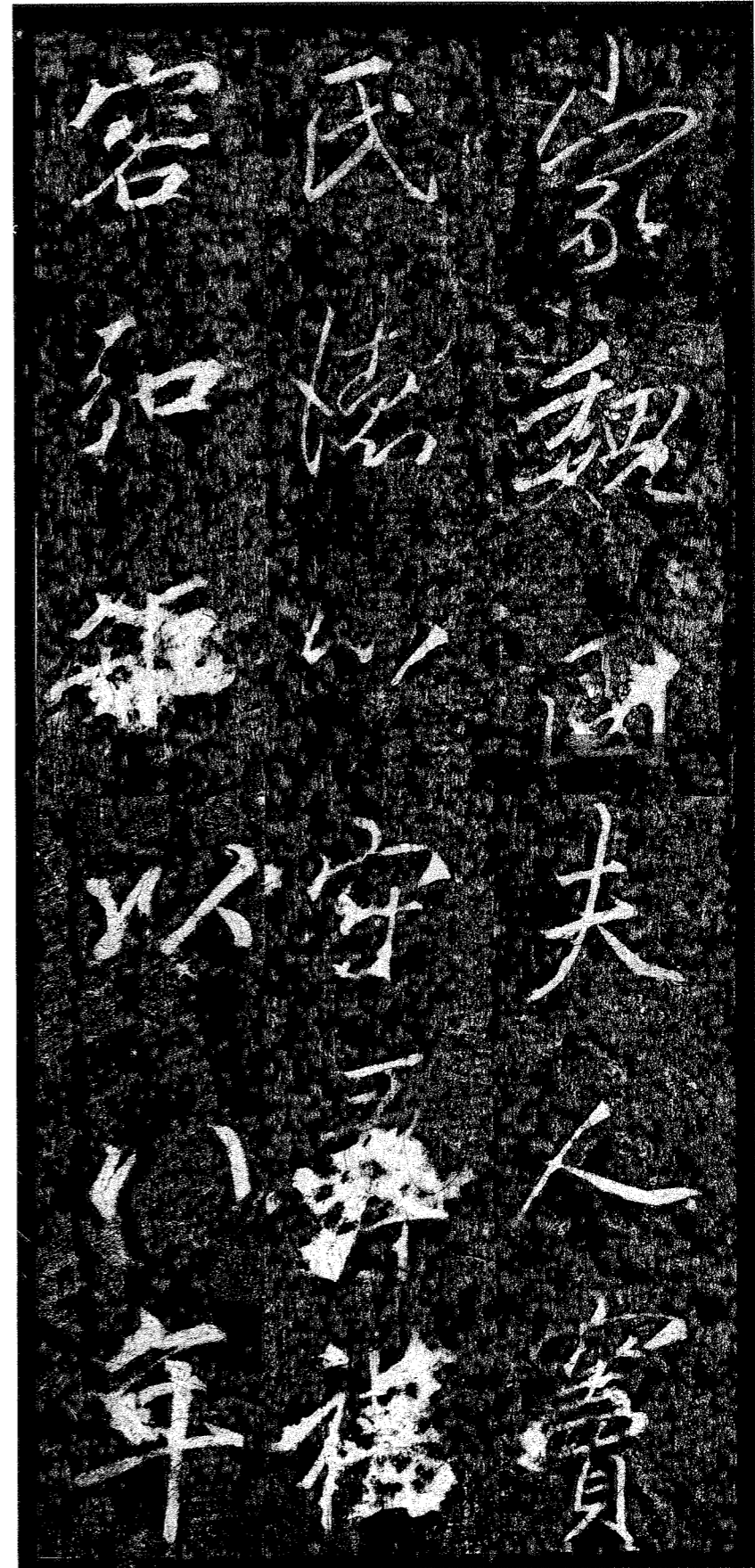
誰能度思。嗚呼。春秋六十六。以開元四年八月。九字欠。第。二三字欠。秦州都督。贈布絹。
 誰能度思。嗚呼。春秋六十六。開元四年八月。秦州都督。布絹。
 誰能度思。嗚呼。春秋六十六。開元四年八月。秦州都督。布絹。
 誰能度思。嗚呼。春秋六十六。開元四年八月。秦州都督。布絹。

誰能度思。嗚呼。春秋六十六。以開元四年八月。九字欠。第。二三字欠。秦州都督。贈布絹。
 誰能度思。嗚呼。春秋六十六。開元四年八月。秦州都督。布絹。

四百端匹。米粟四百石。葬日官給。謚曰昭公。宜。
 四百端匹。米粟四百石。葬日官給。謚曰昭公。宜。
 四百端匹。米粟四百石。葬日官給。謚曰昭公。宜。
 四百端匹。米粟四百石。葬日官給。謚曰昭公。宜。

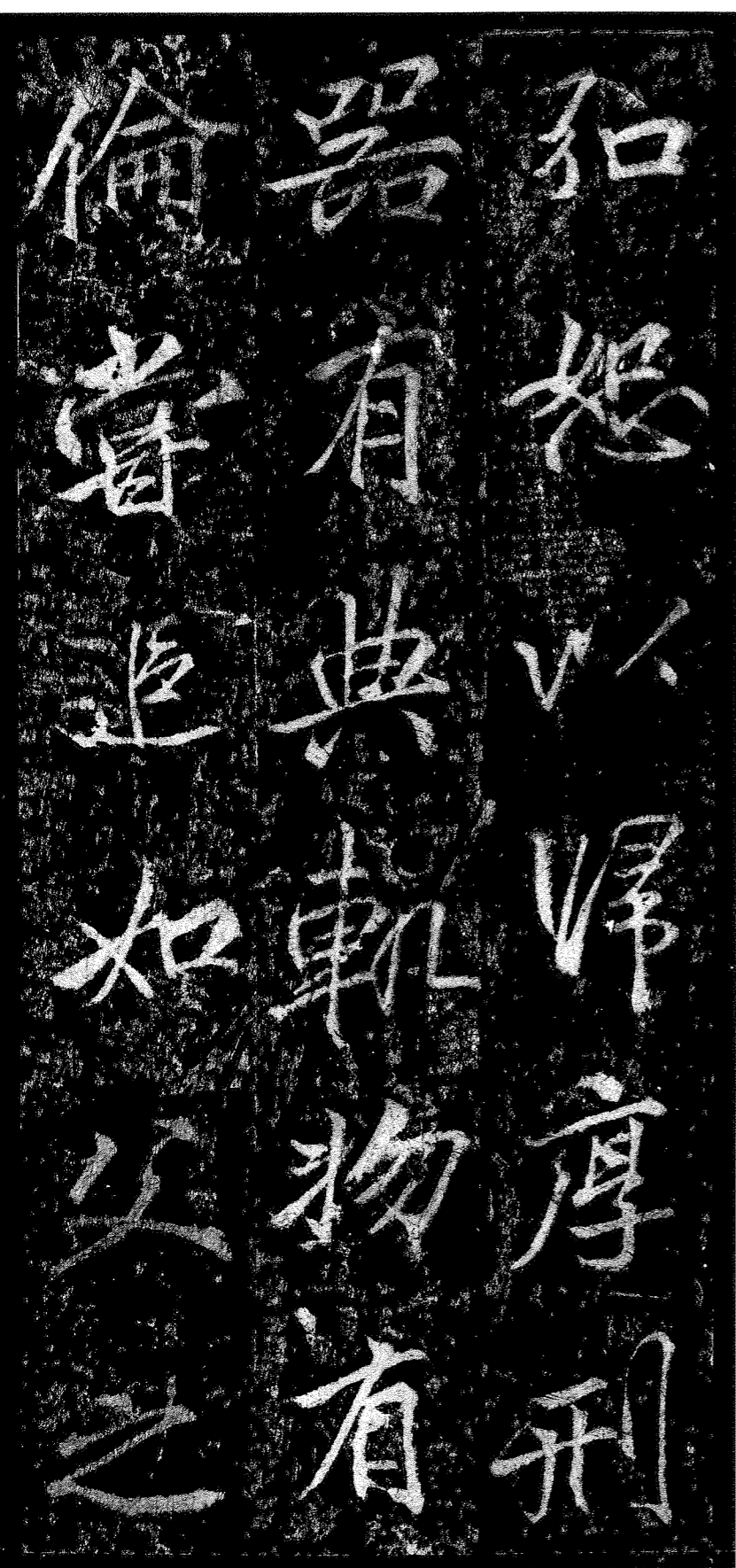
四百端匹。米粟四百石。葬日官給。謚曰昭公。宜。
 四百端匹、米粟四百石を(贈り)、葬日に官給す。謚して昭公と曰う。

家魏國夫人竇氏。德心守彝。禮容弘矩。配天：（二字欠）：嗚呼。□□驚□州：（八字欠）：不□悲夫。以八年
 〔宣〕家魏國夫人竇氏。德心守彝。禮容弘矩。配天：（二字欠）：嗚呼。□□驚□州：（八字欠）：不□悲夫。以八年



六月廿八日。合附陪于橋陵園禮也。姪
 六月二十八日を（以て）、合附して橋陵園に陪せしむるは礼なり。姪

吏部尚書兼中書令集賢院學士修國史晉國公… (二字欠) … □重審忠… (〇字欠) … □平以布和。
 吏部尚書・兼中書令・集賢院學士・修國史・晉國公…



弘恕以歸厚。刑器有典。軌物有倫。普追如父之。
 弘恕以て厚きに歸す。刑器典有り、軌物倫有り。嘗て父の(恩)

恩是切。加人之感相與。公之長子。朝議大夫魏州別駕。二〇字欠。州司馬。復道。朝散大夫。六字欠。集賢院
 是れ切なる(如く)、人の感相與を加うを(追う)。公の長子、朝議大夫・魏州別駕。州司馬。朝散大夫。集賢院
 子朝議大夫去院
 感相與公之長
 恩是切加人之

恩是切。加人之感相與。公之長子。朝議大夫魏州別駕。二〇字欠。州司馬。復道。朝散大夫。六字欠。集賢院
 是れ切なる(如く)、人の感相與を加うを(追う)。公の長子、朝議大夫・魏州別駕。州司馬。朝散大夫。集賢院

昭道等。並才名用譽。業尙居多。至性純深。終天
 用譽業尙居多
 至性純深終天

昭道等。並才名用譽。業尙居多。至性純深。終天
 昭道等、並びに才名は用て譽れあり、業尙は多に居れり。至性純深なるも、終天は

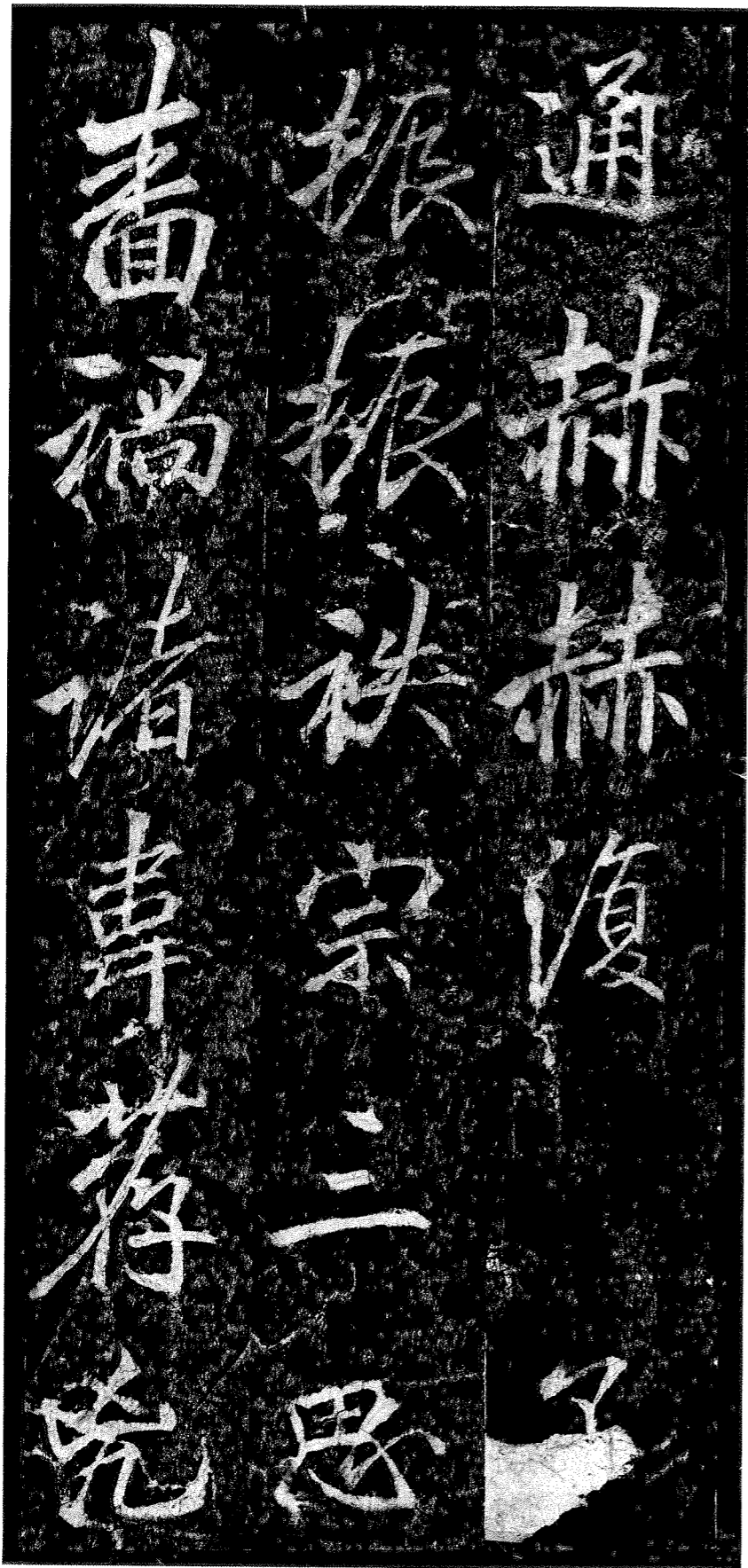
孔亟嘗恐竹前
 紀書由來亟聲華
 石字形言再揚

孔亟。嘗恐竹簡紀事。未極聲華。石字形言。再揚風烈。：（二字欠）：之人。名公之。：。孔だ亟やか。嘗て竹簡事を紀すに、未だ声華を極めざることを恐る。石字言を形わすに、再び風烈を揚ぐ。……

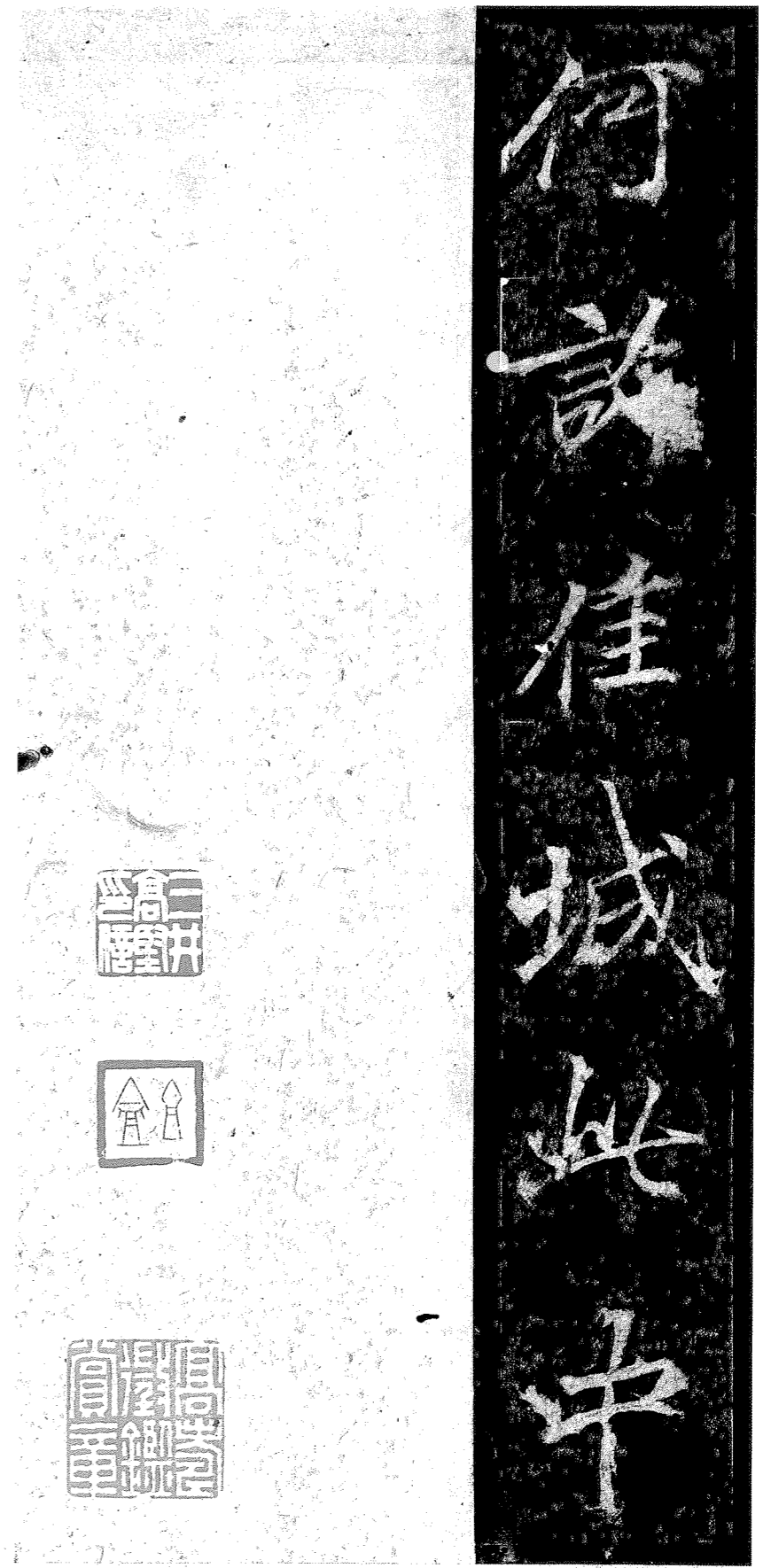
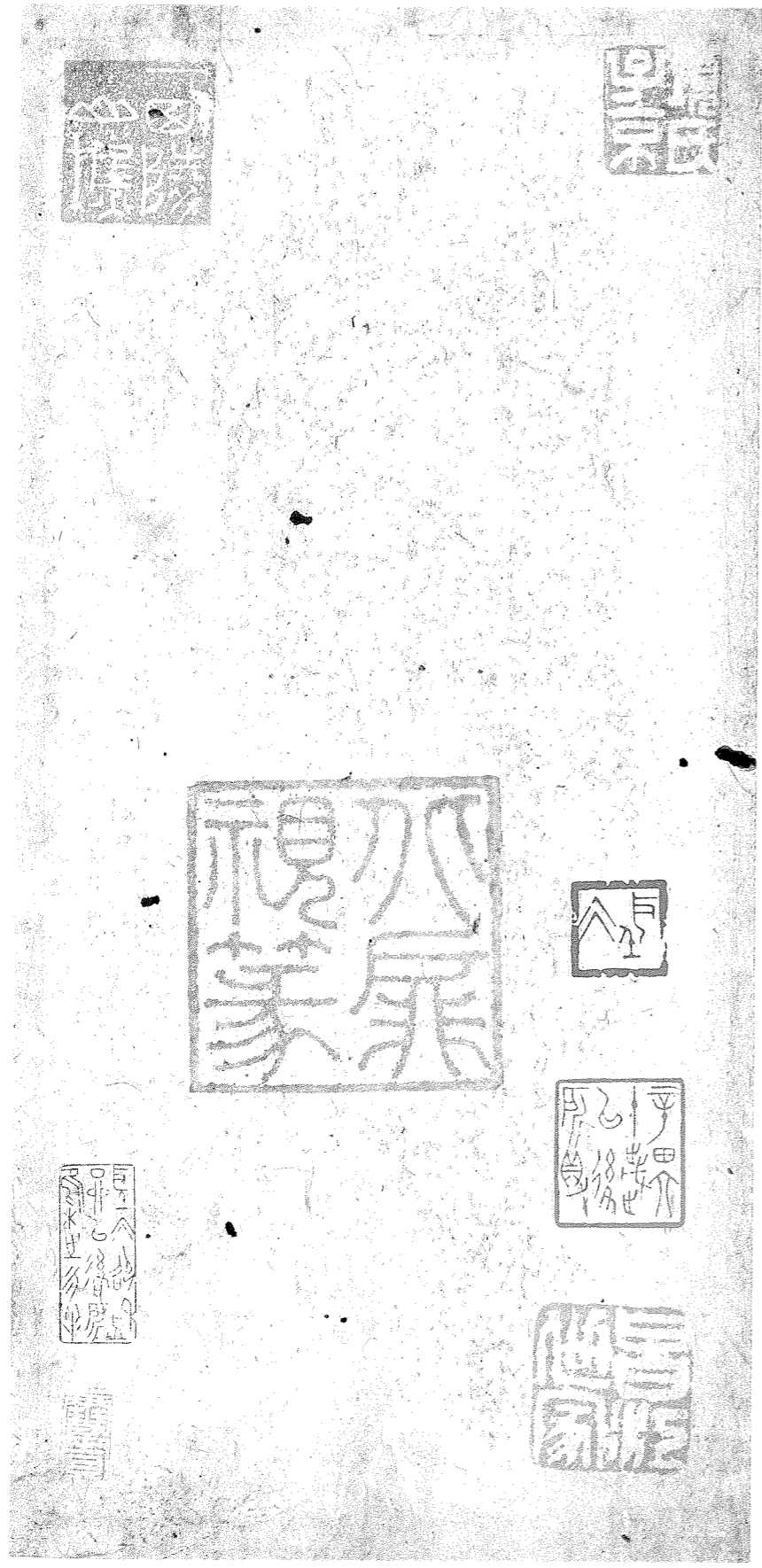
麟定時秀大才
 國工詩書樂地
 典禮良弓聲心

麟定時秀。人才國工。詩書樂地。典禮良弓。率心
 麟定時に秀で、人才國工、詩書樂地、典禮良弓。心に率い

載德。濟義輸忠。湖海雅度。松竹清風。九流摠集。□□□□。伊昔□□。□□□窮。：（一五字欠）：□□□遠
 德を載し、義を濟し忠を輸す。湖海雅度、松竹清風。九流摠べて集まり、……。



通。赫赫復子。振振秩宗。三思齋禍。諸韋荐兇。
 赫赫として子を復し、振振として宗を秩す。三思齋禍、諸韋荐兇。



何許。佳城此中。
 何許のところが、此の中に佳城す。

解 説

角 井 博

本碑は、唐王朝の皇族であり北宗画の祖と仰がれた李思訓（五—七世紀）の徳を頌したものである。筆者の李邕（儀鳳三年（七〇七）—天宝六年（七五七）は揚州江都（江蘇省）の人。字は泰和。『文選』の注釈者として名高い李善の子で、則天武后、玄宗皇帝に仕え、各地を転々としたが、天宝初年（七四二）にいたり汲郡（河南省）、北海（山東省）の太守に任じたため、世に多く李北海とよばれている。彼は本来、豪侈な性格で細行を顧みず、財貨を求めて放縦な生活に耽ったため、疑獄事件をもたらし、天宝六年正月、七十歳にして鞭打ちの死刑に処せられた。彼は文章に長じ、行草を得意としたので、当時、多くの立碑に関わったが、この李思訓碑はその代表作として古来喧伝されるものである。

本碑は高さ三四〇余cm、幅一四七cm、篆額一二字が冠され、碑文は三〇行、毎行七〇字で、約二千字から成る。原石はいま陝西省蒲城県にあるが、ただし下半は文字の摩滅が甚だしく、三二字位から下はほとんど読むことができない。その書は縦長で右肩上がりの目立つ、力のこもったもので、瘦勁で骨格が鋭く表われ、そして何よりもスケールの大きさを感ぜさせる。一点一画の起筆、送筆、収筆部にメリハリがあり、初唐に確立された楷書の筆使いが存分に駆使されていて、王羲之時代四世紀の行書との根本的な書風の違いを見せつけている。李邕の書はその後しばらく脚光を浴びることがなかったが、北宋後半期にいたり俄然注目を集めはじめた。宋代は個人の意（精神）を尊ぶ自由奔放、筆力剛健な革新書風へと発展するが、個性的魅力のある顔真卿や李邕の書が大いに迎えられたものであろう。

この碑は石質が堅固でなく剥落が甚だしいため、旧拓の精本が非常に少ない。方若『校碑随筆』は、この碑の鑑別には第六行「群書精慮衆藝」（本書一三頁）、第二四行「夫人竇氏」（五〇頁）の損していないものを旧拓、第一行「并序」（三頁）の序を文に改刻していないものを北宋拓とし、さらにまた第九行「小小」（一九頁）の上の字、第二二行「不聞」（二五頁）の不字未損はやや旧拓（乾隆・嘉慶間）と記している。本書掲載分は如上の旧拓の条件をすべて満たしている北宋拓の善本で、清時代乾隆期の文人、黎簡（二七—一七）が愛蔵し、今から六十年ほど前にわが三井氏聴冰閣の有に帰した名帖である。文字は一頁三行、一行六字に剪装され、全六一頁、碑文の約半分の一〇七〇字を存しているが、これは整本に復元すれば、上方より三六字前後を遺していることになる。松煙墨を用いたいかにも古様の格調を誇る拓本で、帖後の羅振玉の題跋（中華民國十二年・一九二三）も「宋拓中之上駟也」と評している。

ちゅうごくほうしよせん
中国法書選 39

りしくんひ とうりよう
李思訓碑 唐李邕

1988年8月10日 初版第1刷発行

2003年3月20日 初版第7刷発行

発行者 渡邊隆男

発行所 株式会社二玄社

東京都千代田区神田神保町2-2 〒101-8419

営業部 東京都文京区本駒込6-2-1 〒113-0021

電話 03(5395)0511

原本 三井文庫蔵

解説 角井博

积文 中川憲一

表紙 ダイニック株式会社

印刷 株式会社東京印書館

製本 牧製本印刷株式会社

装幀 加藤光太郎デザイン事務所

ISBN 4-544-00539-6

無断転載を禁ず

JCLS(株)日本著作出版権管理システム委託出版物
本書の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。
複写を希望される場合は、そのつと事前に(株)日本著作出版権
管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を
得てください。

[中国法書選] 全60冊

1: 甲骨文/金文	殷周列国	1600円
2: 石鼓文/泰山刻石	周秦	1200円
3: 石門頌	後漢	1400円
4: 乙瑛碑	後漢	1200円
5: 礼器碑	後漢	1400円
6: 史晨前碑/史晨後碑	後漢	1400円
7: 西狭頌	後漢	1400円
8: 曹全碑	後漢	1200円
9: 張遷碑	後漢	1200円
10: 木簡/竹簡/帛書	戦国秦漢晋	1400円
11: 魏晋唐小楷集	魏晋唐	1300円
12: 王羲之尺牘集〈上〉	東晋・王羲之	1200円
13: 王羲之尺牘集〈下〉	東晋・王羲之	1300円
14: 十七帖〈二種〉	東晋・王羲之	1300円
15: 蘭亭叙〈五種〉	東晋・王羲之	1200円
16: 集字聖教序	東晋・王羲之	1200円
17: 興福寺断碑	東晋・王羲之	1200円
18: 王献之尺牘集	東晋・王献之	1200円
19: 爨宝子碑/爨龍顔碑	東晋 劉宋	1500円
20: 龍門二十品〈上〉	北魏	1300円
21: 龍門二十品〈下〉	北魏	1300円
22: 鄭羲下碑	北魏・鄭道昭	1800円
23: 張猛龍碑	北魏	1200円
24: 高貞碑	北魏	1200円
25: 墓誌銘集〈上〉	北魏	1400円
26: 墓誌銘集〈下〉	隋	1400円
27: 真草千字文	隋・智永	1200円
28: 関中本千字文	隋・智永	1200円
29: 皇甫誕碑	唐・欧陽詢	1200円
30: 化度寺碑/温彦博碑	唐・欧陽詢	1400円
31: 九成宮醴泉銘	唐・欧陽詢	1200円
32: 孔子廟堂碑	唐・虞世南	1200円
33: 孟法師碑	唐・褚遂良	1200円
34: 雁塔聖教序	唐・褚遂良	1200円
35: 褚遂良法帖集	唐・褚遂良	1200円
36: 晋祠銘/温泉銘	唐・太宗	1300円
37: 道因法師碑/泉男生墓誌銘	唐・欧陽通	1400円
38: 書譜	唐・孫過庭	1300円
39: 李思訓碑	唐・李邕	1400円
40: 多宝塔碑	唐・顔真卿	1200円
41: 祭姪文稿/祭伯文稿/争坐位文稿	唐・顔真卿	1200円
42: 顔勤礼碑	唐・顔真卿	1400円
43: 自叙帖	唐・懐素	1300円
44: 草書千字文〈二種〉	唐・懐素	1200円
45: 玄秘塔碑	唐・柳公権	1400円
46: 蘇軾集	宋	1400円
47: 黄庭堅集	宋	1300円
48: 米芾集	宋	1400円
49: 趙孟頫集	元	1500円
50: 文徵明集	明	1400円
51: 董其昌集	明	1400円
52: 張瑞図集	明	1400円
53: 王鐸集	明	1400円
54: 倪元璐集	明	1400円
55: 傅山集	明	1400円
56: 鄧石如集	清	1400円
57: 何紹基集	清	1400円
58: 吳熙載集	清	1400円
59: 趙之謙集	清	1400円
60: 吳昌碩集	清	1400円

全60冊セット本体=71,000円(全冊本体合計=79,500円)

[中国法書選]各冊に対応する総合解説書。好評発売中。

[中国法書ガイド] 全60冊 (本体各880円)

定価は本体価格に消費税が加算されます